

## 新たな歴史のスタート 白鷹高等専修学校の校歌が完成

白鷹高等専修学校初の校歌が完成し、1月14日に町文化交流センターあゆむで披露発表会が開催されました。

歌詞は、校歌選定委員会（橋本淳一委員長・あゆむ館長）による公募・選定の結果、同校の元校長である向田宏男さん（広野）の書いた作品が採用され、作曲家の服部公一さんが作曲を手掛けました。

係者や同校の生徒たち合わせて約200人が出席。服部さんは「満足いく曲に仕上がった」と笑顔を見せ、向田さんは「これから先も大切に歌い継いでいってほしい」と期待を込めました。

その後、服部さんによる公開レッスンの形式で、白鷹女声コーラスさくらと女声合唱団コール・モアが校歌を披露。そして最後は生徒たちも参加し、総勢約60人で力強く歌い上げました。



①服部さんの指揮のもと校歌が歌い上げられ、白鷹高等専修学校の新たな歴史がスタートした。②校歌を作詞した向田さん。③同じく作曲を担当した服部さん。

白鷹高等専修学校校歌

作詞 向田宏男  
作曲 服部公一

ここに集い 共に学び  
夢に向かって 歩き続ける  
古典校の香(かぐわ)しきごと  
磨けよ 技術を双腕に  
求めよ 高次の品性を  
白鷹 白鷹高等専修学校

明日に向かい 共に悩み  
語り合う 青春の日々  
白鷹山の峰高きごと  
磨けよ 技術を双腕に  
求めよ 高次の品性を  
白鷹 白鷹高等専修学校

夢に向かい 共に励まし  
通い続ける 我が学び舎よ  
最上川の水清きごと  
磨けよ 技術を双腕に  
求めよ 高次の品性を  
白鷹 白鷹高等専修学校

## 町芸術文化の発展を目指して—— 白鷹町芸術文化協会「新春のつどい」

1月15日、パレス松風を会場に白鷹町芸術文化協会（伊藤久志会長）の新春のつどいが開かれました。

この日は、会員など約110人が出席。平成28年度の事業経過報告後に、芸術文化の振興に功績のあった4人に表彰が行われました。

受賞者を代表し、奥山正雄さんがこれまでの歴史を振り返りながら「これからも町の芸術文化の発展に寄与していきたい」と謝辞。続いて伊藤会長が「これまでの歴史を引き継ぎつつ、さらにすばらしい芸術文化の発展に努める」とあいさつしました。その後、参加者同士の交流会が行われ、互いの今後の活動や新年の抱負などを笑顔で語り合いました。



写真左から奥山さん、橋本さん、殿岡さん、後藤さん

### ■白鷹町芸術文化協会表彰受賞者

氏名	加入団体名
【芸術文化賞】	
奥山 正雄	白鷹民踊愛好会
橋本 昌子	江戸千家荒砥会
殿岡 しづ	紅花書道クラブ
【奨励賞】	
後藤 源次	高栄会（高玉芝居）